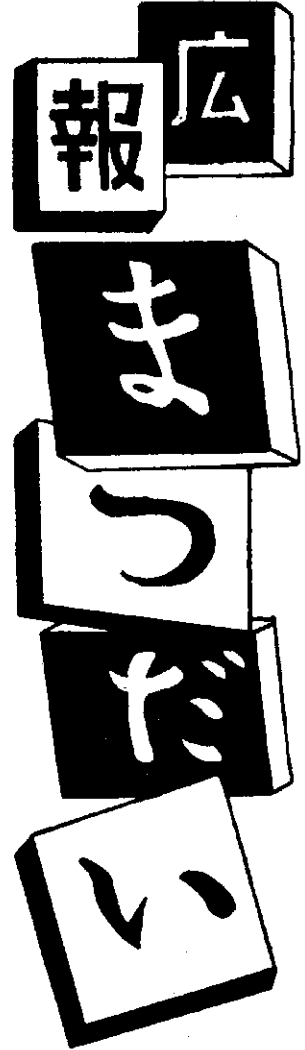


昭和50年

松代町書初展覧会特選



「ももち」

中村 修
北山小学校前平分校 1年

「こころま」

宮沢 祥子
松代小学校下山分校 2年

「けん玉」

柳 直行
松代小学校 3年

「太平洋」

佐藤 睦子
室野小学校 4年

「雪千里」

山本 千恵美
孟地小学校 5年

「世界の友」

宮沢 友子
松代小学校下山分校 6年

「大雪の朝」

高橋 さゆり
松代中学校 1年

「銀世界」

佐藤 公子
奴奈川中学校 2年

「除雪列車」

若月 千鶴
松代中学校 3年

昭和50年2月10日発行
 第183号
 東頸城郡松代町公民館
 館長 関谷 昭平
 電話 松代 301番
 印刷・松代印刷所

「」出品ありがとうございました 書初展覧会盛大に終る

一般者の皆様と各学校のご協力を得て、1月18日～19日の2日間、にわたり開催いたしました書初展覧会は、出品数は前年を上まわり、また多数のご観覧を得て盛大成功

裡に終了いたしました。ご出品・設営にご協力くださいました方々に厚くお礼申し上げます。なお、小学校・中学校の特別

選は前頁のとおりであり、特選・準特選を表彰するほか、出品作に対し（学年毎に在籍の10%を学校で選出して提出）奨励賞を授与いたしました。

準特選及び総出品点数は次のとおりです。

準特選

小学校

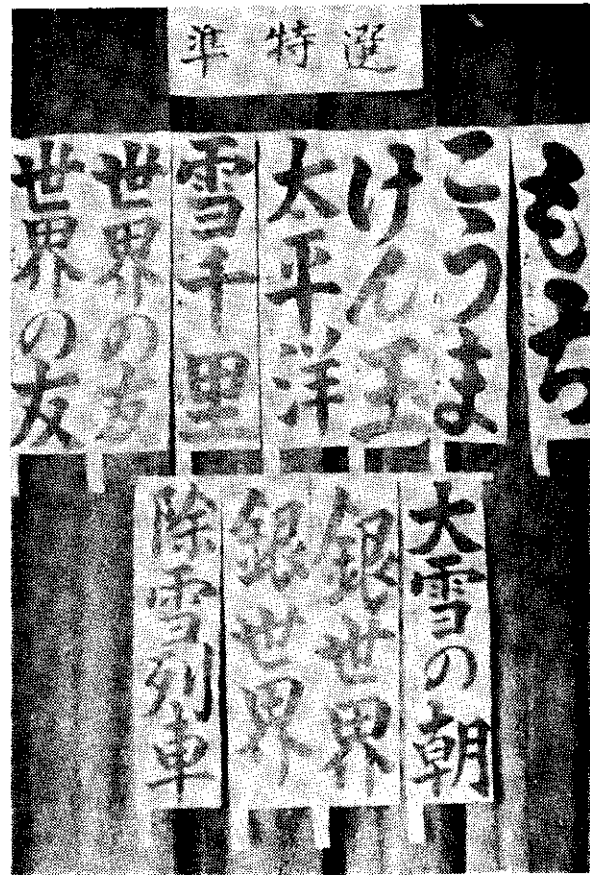
- 1年 宮沢ちよ子（下山分）
- 2年 高橋 克弘（筋平分）
- 3年 宮沢恵美子（下山分）
- 4年 鈴木 智子（松代小）
- 5年 本柳ゆりか（北山小）
- 6年 佐藤瑠璃子（室野小）
- 6年 南雲 元子（松代小）

中学校

- 1年 若月比呂美（松代中）
- 2年 関谷 千絵（ ）
- 2年 万羽 浩子（清水中）
- 3年 佐藤 泉（奴奈川中）

総出品点数

- 小学校の部 一五三点
- 中学校の部 四四点
- 一般の部 七三点（五六名）



人口175人減少・世帯は13世帯増

＝49年・町の人口・世帯数＝

昭和50年1月1日現在の松代町住民基本台帳人口・世帯数（社会課調べ）は、人口八千四〇六人・世帯数二千四一四世帯で、各字別の数は表のとおりであります。

これを、一ヶ年前（49・1・1現在）と比較いたしますと、人口は一七五人の減少（一ヶ

代・太平）は人口・世帯ともに増加しておりますが、その他の地域では多少の世帯数の増加があっても、人口・世帯の減少は依然として進んでいるようです。減少の原因はほとんどが転出であり、自然減は四名（一ヶ年間の出生七五名・死亡七九名）です。しかしこの人口減少を、昭和34年奴奈川村との合併以来、15年間の一ヶ年平均減少人口三四六人と比較してみますと

34・1・1現在 一三、七六七人
49・1・1 ” 八、五八一人
15年間の減少 △五、一八六一人
一ヶ年平均減少 △三四五・七一人
49年一ヶ年の減少 △一七五五人
過疎現象も少しはとどまってきたといえるようです。
少しでも早く、町の施策とあいまって、過疎問題をみんな考えて協力し合って恵まれた町にし、離村された方がまた、もどってこられることを期待したいものです。

（一ヶ年前二千〇一世帯）になり、その増減状況は表に示すとおりであり、町の中心地（松

住民基本台帳人口・世帯数

字 名	男	女	計	世帯	49.1.1現在と較		比	
					増減	増減	増減	増減
松代	857	879	1,736	467	54	20		
小荒	78	75	153	37	9	5		
小菅	60	76	136	31	1	4		
田代	96	99	195	48	1	2		
丸沼	72	71	143	32	10	3	1	2
屋敷	34	24	58	17	3	3	1	2
山下	55	49	104	22	13	3	1	2
千代	73	76	149	31	13	1	1	2
池会	160	201	361	83	18	2	3	2
清桐	50	49	99	20	2	1	3	2
蓬東	87	93	180	50	12	3	2	1
海山	106	127	233	55	3	5	3	8
老伏	75	72	147	35	5	3	8	4
地山	161	169	330	70	7	3	9	1
子島	16	19	35	7	8	1	3	1
倉納	75	70	145	40	9	9	1	1
代平	179	172	351	83	28	10	7	6
野田	57	46	103	28	9	9	1	1
仙田	24	19	43	10	1	7	6	7
あざ	41	29	70	19	2	6	7	6
小諏	16	11	27	8	7	7	2	4
訪	61	65	126	30	6	4	7	1
平野	110	112	222	56	7	3	5	8
生明	64	76	140	31	7	6	1	4
立野	64	65	129	39	7	7	2	4
所	77	76	153	41	7	2	4	7
瀨原	28	27	55	13	2	4	7	1
田原	21	24	45	14	1	3	5	8
計	102	98	200	50	1	1	3	5
	36	37	73	20	1	3	5	8
	237	212	449	121	3	5	8	1
	190	172	362	88	1	4	10	8
	82	79	161	41	28	10	8	10
	41	37	78	21	10	16	16	41
	383	413	796	207	32	21	55	173
	62	62	124	32	21	55	41	173
	42	28	70	21	55	41	173	173
	131	121	252	83	41	173	173	173
	83	90	173	41	173	173	173	173
計	4,186	4,220	8,406	2,114	66	241	41	28
					減175	増13		

心臓病について

● 心臓の位置と働らき

心臓は胸のまん中から少し左へ寄った所にあり、大きさは手のにぎりこぶし位で、左の乳の下あたりになります。

心臓の働きは、全身から流れてくる血液を受け入れて、それを又全身へ押し出す役目です。全身から帰って来た血液は、酸素が少くなって炭酸ガスが多くなっています。右の心臓から入った血液をいったん肺に送り、そこで酸素をとって、左の心臓へもどり、そこから全身に押し出されます。つまり心臓はポンプの役目をしています。

● 最近では心臓病で死ぬ人が多い

日本人の死因からみますと、第一位脳卒中、第二位がん、第三位心臓病ですが、アメリカやヨーロッパでは心臓病が第一位です。当町では昭和四十八年から心臓病死亡が第二位にのしあがって、増加の傾向です。しかも四十代、五十代の死亡者も数人います。

● 心臓病の土台は高血圧と動脈硬化

心臓病(狭心症、心筋硬塞)は高血圧と動脈硬化という土台があって、その土台に何かのキツカケが加った場合に発作がおこります。高血圧、動脈硬化のことについては、広報まつだいの昭和四十九年六月十日発行(一七五号)をご覧ください。

● 心臓の病気

心臓病には、生まれつきの心臓病の外、子供に多いリニーマチ熱と成人病としては、狭心症、心筋硬塞などがあります。

◎ 狭心症

心臓の筋肉に血液を送る冠状動脈が動脈硬化をおこし、血液の通り路がせまくなると、必要な血液を供給出来なくなり、心臓の筋肉の栄養障害が起ります。

これがもとになって起る発作性の病気を狭心症といいます。

この発作は二、三分から五分位です。発作が起った時は先ず安静にします。寝ることが苦しく、患者さんは、うずくまるような姿勢になりますので、ふとんを積み重ねそれにかまされるような恰好にし、背中にかかる毛布を一枚位かけます。あとは医師の指示にしたがって下さい。

◎ 心筋硬塞

冠状動脈が硬化して血液の通り路がせまくなっている所へ、血液のかたまりがつかまつたりすると、それから先の心臓の筋肉は死んでしまいます。これが心筋硬塞で、心臓のあたりが激しく痛み、顔色は土色にかわり、冷汗が流れて血圧は下り、発作はかなり長い時間続きます。

松代町スキー協会が

三年連続総合優勝

―松之山スキー大会で―

二月九日松之山温泉スキー場で開催された、第二十六回松之山スキー競技大会に松代町から小、中、高校生、一般者選手約八十名、応援観客およそ百名が参加、その結果成年と壮年が三年連続総合優勝するなど数々の優勝、入賞を果しました。松代町関係の主な成績は次のとおりです。

▲ 成年総合

優勝 松代町スキー協会

▲ 壮年総合

優勝 松代町スキー協会

▲ 高校総合

二位 県立松代高等学校

▲ 距離競技

幼女B 一位五十嵐まり子(松

死亡率はかなり高く、発作後数秒から数分で死亡する人もあり医師の間に合わぬこともしばしばあります。

● 予防に重点を

発作が起ってからでは間に合いません。高血圧や動脈硬化で心臓病の土台をもっている人が非常にたくさんいます。キツカケを作らない日常生活が極めて大切であります。

◎ キツカケとは

① 心配や興奮など、精神的緊張。
② 急激な温度の変化の中に体をさらすこと。

③ 睡眠不足や過労、急激な運動。

④ 太り過ぎ。

⑤ 塩分のとり過ぎ。

⑥ 動物性脂肪のとり過ぎ。

⑦ 酒、煙草のみ過ぎ。

などが考えられます。

自覚症があつてからでは、おそれのです。検診を受けることによつて、より早く病気を発見することが出来ます。早期発見、早期治療で一人も不幸な人の出ないように皆で努力しましょう。

代小) 四位中村知恵美(松代小)

幼女A 一位石口富子(松代小)

四位相沢幸子(松代小)

幼女B 三位富沢博幸(松代小)

四位市川義久(松代小)

五位高橋和彦(松代小)

幼年A 一位関谷武久(松代小)

三位万羽琢哉(松代小) 四位高橋龍也(松代小) 五位柳壮一(松代小)

少女 一位市川美代子(松代中)

二位高橋直子(松代中) 三位山賀順子(松代中)

少年 二位柳時夫(松代中)

三位関谷浩好(松代中)

成年女子 二位樋口美枝子(松

- 代高)
- 高校成年 一位市川稔(松代高)
二位佐藤秀隆(松代高)
- ▲大回転競技
- 少女 二位関谷道子(松代中)
三位小堺春子(松代中)
- 幼年B 二位山岸正文(松代小)
三位相沢一(松代小)
- 第二壮年 二位関谷博(松代町
スキー協会)三位樋口堅一(松代町スキー協会)
- 高校 一位樋口勇(松代高)
成年 二位相沢哲夫(松代町スキー協会)
- 少年 二位関谷稔幸(松代中)
- ▲回転競技A会場
- 高校 三位田辺宗夫(松代高)
五位早川純一(松代高)
成年 二位小林進(松代スキー協会)

保育園児募集

松代町では、次の三保育園の四月からの入園児を募集しています

松代保育園(定員一二〇名)
室野保育園(定員六〇名)
蒲生保育園(定員四〇名)

児童の入園を希望される保護者は二月二十日までに区長さんを通じて役場へ申込んで下さい。

現在入園している児童は、三月で卒園になりますので、引き続き四月以降も入園を希望される場合は改めて申込みが必要です。

保育園に入園できる児童は、その家庭が次のいずれかの事情にある場合です。

しかし、次の一から五までの場合は、その家庭の母親以外の人が保育ができる場合は除かれます。

(一)家庭外労働
児童の母親が昼間家庭の外で仕事をすることが普通なので、その児童の保育ができない場合。

(二)家庭内労働
児童の母親が昼間家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をすることが普通なので、その児童の保育ができない場合。しかし父親がその仕事に従事している、かつ、そのための使用人がいる家庭は除かれる。

- ▲回転競技B会場
- 幼年A 一位関谷智(松代小)
二位 関谷哲(松代小)
- 幼年B 二位相沢一(松代小)
五位 山岸正文(松代小)
- 第二壮年 一位樋口政栄(松代町スキー協会)二位関谷博(松代町スキー協会)
- ▲リレー競技
- 幼年 一位松代小学校A
三位松代小学校B
少年 三位松代中学校A
高校成年 一位松代高校 三位松代町スキー協会A
- 幼女 一位松代小学校A
四#松代小学校B
少女(オープン)
一位松代中学校A
二#松代中学校B

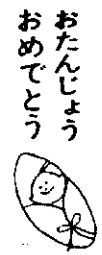
- (三)母親のない家庭
母親の死亡、行方不明、拘禁などの理由により母親がいない家庭の場合。
- (四)母親の病氣等
母親が出産の前後であったり、病氣であったり、心身に障害があったりするのでその児童の保育ができない場合。
- (五)病人の看護等
その児童の家庭に長期にわたる病人や心身に障害のある人がいるため、母親がいつもその看護にあたっており、その児童の保育ができない場合。
- (六)家庭の災害
火災や、風水害や地震などの不幸があり、その家庭を失ったり破損したため、その復旧の間児童の保育ができない場合。
- なお、家庭で保育できない理由の程度や保育園の定員に余裕がないときなどは入所できない場合がありますから予めご承知下さい。

戸籍の窓口から

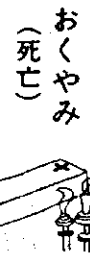
一月受付分(受付順)

こけつこん
おめでとぅ

小界利和・小界久子 室野 板金



- おたんじょう
おめでとぅ
- 中嶋恵美子 父信 吉長女 海老上牛首
母つぎ子
- 関谷美智子 父欣 一三女 松代 東雲屋
母美和子
- 横田博史 父信 之二男 松代 県営住宅
母トシ子
- 若井清美 父健 吉三女 蓬平 角右エ門
母喜代子
- 柳 輝幸 父一栄 長男 千年藤兵エ
母富恵
- 高橋民枝 父紘次 長男 小荒戸 はしごだ
母フミ
- 佐藤雅文 父文夫 長男 滝沢 紺屋
母愛子
- 柳 孝志 父照雄 長男 芋島吉兵エ
母優
- 関谷睦美 父司 郎 長女 松代司屋
母マリ子
- 樋口美佐子 父政徳 二女 松代 長左エ門
母幸子
- 山岸幹良 父公男 長男 峠 山田屋
母明美
- 山岸多佳子 父幸 男 二女 室野 実幸屋
母ミサ子
- 村山尚子 父正 寿 四女 室野 山喜屋
母トシエ



おくやみ
(死亡)

- 柳 作蔵 七九才 松代 為吉
- 山賀キヨ 八七才 池之畑 幸蔵
- 斉木 巖 五三才 中子おやけ
- 寺崎キミエ 五三才 桐山伴ねん
- 秋山虎次 七二才 清水佐左院
- 柳数太郎 八二才 芋島倉屋敷
- 本山辰太郎 八二才 室野おかねさま
- 若山金治郎 八二才 室野 出合
- 中沢カツ七 六才 木和田原やまきや

人口のうごき			
(2月1日現在)			
世帯数	2,111	(-3)	
人口	男 4,182	(-4)	
	女 4,227	(+7)	
計	8,409	(+3)	
出生	13	死亡	9
転入	13	転出	14



町づくりと

土づくり

松代農業改良普及所 若 月

ここ一・二年早ばつ、豪雪、いもち、減収と農家はさんざんいためつけられております。

それだけでなく三十年代後半から、松代町で年々二十戸余りの離・廃農が続き、十五年間の離廃農家は三百戸を越え、また町内人口は、昭和三十年から昨年末迄に、五千六百五十人(当時の人口の四十%)余りも減っております。

この地這りの流出現象はいつ止まるのか、今後どうなるのか不安でたまりません。

近年松代町も、道路の改良、鉄道の新設と交通事情の見とおしは明るいが、これだけで地這りの流出現象が止まるとは考えられず、他町村にもその例があるように、交通関係の好転がかえって、流出離村に拍車をかける場合もあります。

水は低い方に流れ、人は所得の高い方に移動すると言われておりますが、過疎現象は、所得格差、生活環境格差、意識格差によって起り、対策としては、近代的感觉をもった地域住民が、甘んじて地域に定着できるだけの、所得水準と環境水準を確保してやることでなければなりません。

そのためには莫大な資金を要するとともに、容易に解決できることではありませんが、といってこのまゝ放置すれば町人口は漸減し町は衰微の一途を辿ることでしょう。

。

これが根本的対策は、町当局と為政者に委ねるとしても、私達住民も考えなければならぬ点がたくさんあると思われませんが、その中でも自分達の耕地条件と居住環境の整備が先決と考えられます。水田一枚の平均面積が九十七平方メートル(一畝弱)、一戸の平均保有枚数が六十四枚で、しかも水利の便がなくて、水源を天にまかせる状態では、近代的農業とは縁遠く、しかも収量性が低いとあっては、若い者が農業を嫌うのも当然と言えましょう。

また最近地方問題(土づくり)が大きくとりあげられておりますが当地方のような湿地地帯は、平場の乾田と違うので、同律に考える必要もありませんが、やはり省資源の立場からも、肥料・農薬を節減して、しかも健全な稲を育て、多収を図るにはそれなりの「土づくり」が大切になってきます。

土が肥え、作物の根張りが良くなれば、その作物はすくすくと生長し、立派な実をつけるように、人もまた、地力(包容力)のあるところには、定着するものと考えられます。

そのためには基盤整備が前提となりますが、この辺のような地形耕地条件では大規模な基盤整備はむづかしいので、最寄耕作者共同で、小規模基盤整備を進めるとともに、用水設備を考えなければなりません。

次に生活環境ですが、冬季間の除雪くらし馬鹿らしいものはありません。

全く「骨折りの損のくたびれもうけ」で受損者負担です。

冬季間の降雪量は年により異なりますが、松代における最近二十五年の平均は十一・八八米、除雪も七・八回、多い年は十回を超え道踏日数も四十〜五十日に及び、

雪による損害額は年間十数万円と言われ、しかも他町村との交通さえ遮断されることもあります。

しかしこの雪の問題も、自然が相手だけに至難のことですが、やはり豪雪地帯ということでは将来とも諦観することは宥されません。家屋構造も改善し、除雪に要する労力を軽減するとともに、除雪方法も従来の人海戦術から脱皮して、機械力を利用するようにしなければ、老令化の進む中でしかも老朽家屋を維持することは困難でありましょう。

何れにせよ、こゝで直ちに町民こぞって「町づくり」と「土づくり」に取り組み、若者が町に止まるようにしなければ、松代小唄の「ほんに日本の若い町」は「年寄りの町」と化し、ついには「老衰の町」となるのではないのでしょうか。

みんなの広場に

ご寄稿ください

次のとおり皆様のご寄稿をお待ちしております。

(一) 字数 四〇〇字原稿用紙三枚程度にまとめてください。

(二) 内容 町づくりに寄与するご意見・理想文。体験談。町を明るくする話題・美談。

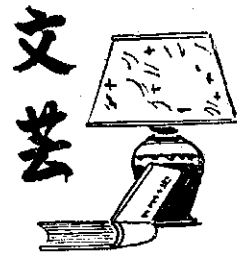
(三) 切及び投稿先 毎月二十五日までに、町総合センター内公民館へ。

(四) その他

- 1 匿名での登載を希望するときは申出ください。
- 2 採用のものには薄謝を差上げます。

広報「まつだい」を 出稼先へ

この広報を読み終ったら、ふるさととのニュースを待ちわびる、出稼先の夫や父や子へ送ってあげてください。



しづみ句会

新年初句会 (50.1.9 ヤマヘイ旅館)

かじかみし掌に年金を受取りぬ。ロソクを雪に立てもし初詣。大藁屋天窓よりぞ初日さし。

雪壁をライト明るく曲りけり。アパートの窓辺窓辺の干大根。雪崩して山肌黒く月明り。

吹雪かれて卯辰の荒れとつばやけり。寒入りの日に降る雨を喜べり。炬燵の座いつとしもなく定まりぬ

映深し雪の細道賀客来る。連休は古里に来て狩宿に。一日だけのにわか土工に雪しまく

軒下の南天赤く雪に映え。新年の作占うや寒の雨。雪道の夕日背負いてあと二町。

ガラス窓凍てついて居る月夜かな

紅茶

村々に鐘どよめきて年明くる。

新しき家に移りて注連飾る。善一

洞泉寺初詣して十年過ぐ。静舟

雪降りにもまた一段増す羽目板を。定男

十二月例月句会 (12.16 紅茶居)

冬霧に尾灯瞬く別れかな。雪晴れの蒲団干したる大廂。

闇汁は宿の七升鍋借りて。待合室に雪舞い込みし山の駅。

朝晴れのマユミの紅の雪に映え。雪下の白菜を堀るや空青し。

雪国の雪の静かなたゞずまい。街灯に雪舞ふており虫のごと。

遅参なく忘年句会始まりぬ。托鉢の笠に雪おき軒に立つ。

山路を歩き枯葉に足取られ。夜道踏むチャイムの音の静かなり

紅葉して妙高山頂雲を置く。寒き夜の当直番や盗み酒。

落成の祝餅撒く雪の上。街灯の白き広げし冬の庭。

年忘れ酔の廻りの早きこと。機織の聞こゆる村の冬日濃し。

静風

紅茶

書き損じは交換できます

はがき・ミニレター

年賀はがきの書き損じをお持ちでないでしょうか。

郵便はがき・ミニレターを書き損じたり、汚したり、一部を破ったり、印刷を誤ったりしたものは新しい郵便はがき・ミニレターと交換できます。

ただし、料額印画(料金を表示してある部分)を汚したり、傷つけたりしたものは交換できません。交換手数料は次のとおりです。

。10円はがき
。往復はがきの往信部 一枚に付
又は返信部 二円
小包はがき

はがきの表面半分まで

通信文を書けます

はがきの表面(住所やあて名を記載する面)にも通信文を書くことができます。

表面に書ける範囲は、たて書きの場合には下部の半分以上、よこ書きの場合には左側の半分以上です。この範囲を超えますと、料金が手紙なみになりますから御注意ください。

新年レクリエーション 一般囲碁大会終る

数年ぶりに再開された公民館主催の新年レクリエーション一般囲碁大会が、1月19日町総合センターで開催されました。この大会は親睦第一、勝敗第二というもので気軽に参加でき、広報まつだいにより希望者を募集し開催したものです。

申込者は将棋の部は一人も無く囲碁の部で18名の申込みがありました。前夜の大雪のため7名欠場11名で2組に分れリーグ選で対局、午前10時から午後5時近くまで楽しく終始いたしました。

「対局のきまり」

- 1 同級(段)者の対局は互先としこみは四目半とする。
- 2 一級差の対局は下級者を先手とする。
- 3 二級差以上は一目宛(二級差は二目)とする。

(各人の級は明らかでないので協議により決定) 上位入賞者は次のとおり。

- 優勝 高橋伸二(7級・松代高校)
- 準優勝 小堺利一(1級・農協奴奈川支所・A組で5戦全勝)
- A組(6名・リーグ戦)
 - 2位 小野敬司(1級・室野駐在所・3勝2敗)
 - 〃 丸山恵一(7級・山平郵便局・3勝2敗)
- 3位 高橋清(5級・松代高校)
 - 2勝3敗)
- B組(5名・リーグ戦)
 - 2位 高橋幸平(4級・役場・3勝1敗)
 - 3位 後藤正隆(6級・松代高校・2勝2敗)

【訂正】

1月10日発行(一八二号)の広報まつだいに(2)頁に登載の特別職の給与に次のとおり間違いがありましたのでお詫びし、訂正いたします
〔正〕 収入役 月額二二万一千円
〔誤〕 〃 〃 二二万円